

はにい 自分にとって大切な政策とは 平成28年7月8日



高校2年生総合的な学習の時間、政治参加教育のひとコマです。

「あなたが投票を行う上で大切だと思う政策項目を選んでください」先生がワークシートを示しながら呼びかけます。そこには『雇用・就職』『保育・少子化対策』『エネルギー』『防災』『教育』など、18の政策項目例が並びます。

「選んだ項目の政策を具体化します。なぜその政策が必要なのか、理由も考えて」

考え込んでいる生徒がいます。『雇用・就職』を選んで、「労働時間」「残業」「ブラック企業」とメモが書いてあります。その様子を見て、先生が声をかけました。

「何か困ってる？」

「労働時間って決まりがあるんですか？具体的な政策っていうと書けなくて」

「労働基準法で決められているよ。何か気になることがあるの？」

「うちのお父さんが夜遅くまで働いていて、家にはほとんど寝に帰ってくるだけ。それでまた次の朝会社に行く。もっと自由な時間が必要だし、日本人は働き方を見直した方がいいと思う」

次に、4人グループになって、それぞれが考えたことをもとに話し合います。

「私も『雇用・就職』を選んだけど、就職難の問題が気になる。なかなか就職できないらしいし」

「働き過ぎの問題と働けない問題か。二人は反対の意見だね」

「でも、就職しやすくして、働きやすいホワイトな会社が増えればいいんじゃない？」

「あ、そうか」

「それを政策にすれば」

「いいね」

「でも、どうしたらいいかな」

政治参加とは、自分たちの身の回りにある課題に気付くことから始まっています。



『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp